

科目名	理学療法概論	担当教員	小林 巧 森野 陽 世古 俊明 小川 峻一 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	--------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法専攻	専門科目	選択	1年次	前期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR11AB	②					

科目概要	1年次に理学療法を概観し、理学療法の定義、歴史、評価—治療体系、対象、主な背景理論、主な治療手段、理学療法教育の変遷などについて学習する。特に、綿密な評価を通じて抽出された問題点に対する理学療法の適応とその実際の方法を理解する。さらに医学的リハビリテーションにおける位置づけ、さらには治療（身体医学）としての理学療法の役割について理解する。
学習目標	① 理学療法の定義、歴史、理論を理解する。 ② 理学療法士に求められる適性と資質について理解する。 ③ 理学療法の対象と業務について理解する。 ④ 理学療法の教育ならびに学術活動について理解する。 ⑤ 理学療法の現在の課題と展望について理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	ガイダンス 理学療法の定義と業務、歴史	理学療法の定義を説明することができる。 理学療法の歴史と成り立ちを理解する。	
2	理学療法の関係法規	理学療法士及び作業療法士法とその関連法案	理学療法士及び作業療法士法およびその関連法案について理解する。	
3	理学療法の対象と業務	理学療法の対象、評価、治療手段 理学療法士の業務、評価と治療経過、治療	理学療法の対象と業務について理解する。	
4	理学療法士の職能と学術活動	理学療法士の職能と学術活動	理学療法士が社会に対して果たすべき役割と研究活動の必要性について理解する。	
5	理学療法の実際①	神経系理学療法の適応と実際、展望と課題	神経系理学療法の適応と実際の進め方、将来展望について理解する。	
6	理学療法の実際②	内部系理学療法の適応と実際、展望と課題	内部系理学療法の適応と実際の進め方、将来展望について理解する。	
7	理学療法の実際③	EBM と理学療法研究の展望と課題	EBM と理学療法研究の実際の進め方、将来展望について理解する。	
8	理学療法の実際④	運動器理学療法の適応と実際、展望と課題	運動器理学療法の適応と実際の進め方、将来展望について理解する。	
評価方法		講義に対する姿勢（20%）、筆記試験（80%）		
課題に対するフィードバック		1 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。 2 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。		
教科図書		特に指定しない。毎回資料を配布する。		
参考図書		大橋ゆかり・編『基礎理学療法学』医歯薬出版株式会社、2017年 細田多穂・監『理学療法概論テキスト 改訂第3版』南江堂、2017年		
学習の準備		1（予習）リハビリテーションに関する基礎知識について予習しておくこと（90分） 2（復習）授業中に配布した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと（90分）		

オフィスアワー	月曜日 13:00～14:30、その他在室時はいつでも可
担当教員欄に※印を 附した教員の 実務経 験	